



北村 あや子 区政ニュース

2022 年度決算特別委員会での質疑

昨年度の決算を審議する特別委員会が9月22日から10月4日まで開催されました。主な質疑内容をお知らせします。議員1人当たりの質問時間は区の答弁を含め48分です。質問時間が限られているので、質問で触れられない課題もありますので、今後の議会でも議論を深めてまいります。

福祉施設の安定的運営を

今年は指定管理区立保育園での不適切保育、委託事業の学童クラブで不正受給が発覚するなど、委員会内でも大きな議論となりました。

区の事業、特に福祉関連施設は安定して運営される必要があります。かなめは「人」。指定管理制度施設での人件費の積算がどうなっているのか、積算と実際に労働者が受け取る賃金に差異はないのか。区は責任をもって人件費の状況を確認する必要があります。そのためにも、「公契約条例」を荒川区でも制定するよう求めました。

そもそも、福祉関係の事業は指定管理制度になじまないと思います。



学童クラブ「対象児童要件」の改定を求めました

夏休み前、お子さんを学童クラブに預けたいけれど要件が合わず、区から断られたとの声がありました。

保育園に通っていたお子さんでも学童クラブには通えない事例が発生しており、区も認識しています。区民の働き方は多様化しているので、現状に合わせた要件の改定が必要だと質問しました。区は「改定します」と答弁。早期の改定を強く求めました。



彫刻の街づくり事業～美術・芸術支援充実を

1985年から「緑と彫刻のまちづくり事業」としてスタートした「彫刻の街づくり事業」。現在区が所有している彫刻作品は149作品。そのうち、東京芸術大学との連携事業(区長賞受賞作品)関連の作品は31作品です。

毎年1～2作品増えていくので、置き場所の問題、清掃維持経費(年間47万円)などの課題はありますが、区民が生活の中で美術に触れる、生活に潤いを与える事業だと思います。引き続き区民が美術・芸術に親しむことが出来るよう、彫刻に限らず他の芸術についても事業の充実を求めました。ただし、「芸術家の自主性や創造性を尊重する」大原則は忘れてはいけないと思います。



小台通りのアップルエンジェル

みまもり緊急通報システムの対象拡大を

今年から固定電話をお持ちでない方も利用できるようになった「緊急通報システム」。対象者は、みまもりネットワークに登録していただいた方で、65歳以上のひとり暮らし又はひとり暮らしに準じる状態にある方。

システム機器のレンタル料(固定電話2,750円、固定電話無し3,300円)の3%分(月額)の自己負担があります。ただし、生活保護受給世帯および住民税非課税世帯は自己負担はありません。

この緊急通報システムの対象拡大を求めました。ガンなどの特定疾病で介護保険を利用している介護保険第2号被保険者(40～64歳)など、介護を必要としている単身者も対象に含めるよう要望しました。



保育園来年 4 月入園集中受付 10 月 27 日から

来年度の認可保育園入園申込みが始まります。申請で分からないことなど、お気軽にお問い合わせください。

集中受付期間 10月27日(金)～11月10日(金)

*窓口にお越しになる場合

各日午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで(土・日・祝日を除く)

水曜(11月1日、11月8日)は受付時間を午後 7 時まで延長

*郵送の場合 申込締切日必着

*電子申請の場合 締切日午後 5 時 15 分までに受付完了してください

今年からマイナポータルの「ぴったりサービス」での電子申請を開始

【問合せ】子ども家庭部保育課入園相談係

電話:03-3802-3111(内線 3825～3827,3847)



荒川区の待機児童は…

	2021	2022	2023
認可園申込者	1,367	1,247	1,367
入園承諾	1,126	1,040	1,147
入園不承諾 ※①	241	207	220
他の保育利用			
認証保育所	20	17	12
家庭的保育	11	5	3
定期利用	5	6	2
小計 ※②	36	28	17
保育利用なし			
1園希望	17	10	10
地区内空枠あり	34	26	18
求職活動停止中	3	7	5
不承諾希望	130	132	169
書類不備	0	4	1
小計 ※③	184	179	203
待機児数①-(②+③)	21	0	0

2年連続待機児童ゼロというけれど…

荒川区は 2 年連続待機児童ゼロ。ですが、今年度の場合「入園不承諾」は 220 人(約 8 割の 169 人が育休延長のための不承諾希望)です。そのうち 17 人は認証保育所などを利用することになりました。

しかし「地域的な理由で1園希望」など 34 人は保育を利用できずになりましたが、待機児童にはカウントされていません。待機児童ゼロといっても、希望する保育園にすべての子どもが入れているわけではありません。保護者の希望に最後まで寄り添う対応を求めます。

廃プラスチック回収モデル事業の地域拡大

荒川区は 2022 年 3 月から町屋の集合住宅(約 1,200 世帯)で、廃プラスチックの資源化に向けた改修事業を行ってきました。10 月 5 日からはモデル地域が拡大され、戸建て住宅を含む地域でも回収が行われます。

新たに加わったのは、町屋 2～4 丁目、計 7,085 世帯です。清掃リサイクル事務所に隣接または近い地域から地域を拡大したとのことです。戸建て住宅地域における回収の課題



●清掃リサイクル事務所
☆モデル住宅(5ヶ所8棟)

モデル住宅 1,200世帯
町屋2丁目 1,467世帯
町屋3丁目 2,274世帯
町屋4丁目 2,144世帯
計 7,085世帯



があると思います。ゴミを集める特殊車両は発注から納品まで、1年ほどかかるそうです。

ほかの地域でも早く回収を始めるように求める声が議会内でも多くありました。**荒川区全体での実施は早くて 2025 年度になるのではないかと**のことです。

プラスチック製品の製造者責任をもとめつつ、リサイクルも推進して、温室効果ガスを減らすようにしていきたいですね。

【問合せ】環境清掃部 清掃リサイクル推進課 電話番号:03(5692)6697



日時:10月20日(金)18:30～20:00

会場:北村あや子事務所(西尾久2-4-8)

TEL&FAX:03-3894-6668 **要予約**

日々の生活、仕事、相続…ひとりで悩まずに相談を。

弁護士と北村がお話をうかがいます。生活相談はいつでもどうぞ。



**法律
相談**
HOURITSU SOUDAN